

# 韓国で出会った犬たち

足立 龍枝



## ① チンド犬「パル」の自己紹介

僕はチンド犬の雑種、韓国京畿道利川に住む少年犬だ。生まれて1か月ぐらいの6月8(パル)日に、主人である朴チャンヒさんの家にもらわってきた。朴チャンヒさんは「東医宝鑑」「許渡」の翻訳をしたり、現在、大倉集古館にある利川五重石塔の還収委員会の実務委員長でも有名な人。奥さんのペ キョンアさんは若くて美人だ。

ところで、朝鮮半島には、豊山犬・チンド犬・サ



プサル犬という伝統犬がいる。チンド犬は、日本の秋田犬に似ていると言われている。どちらも飼い主に対して忠誠心

があり、帰巣性も優れている。そのよく似た話が縁で、秋田県大館市とチンド郡は交流をしている。

チンド犬の先祖は、いろんな説があるが、モンゴル説が有力で、1300年代、元が高麗を攻めてきたころまでさかのぼり、牧羊犬として飼っていた。植民地時代に天然記念物に指定され、10年ぐらい前には、イギリスケンNELクラブに公式登録されて世界的な名犬になった。(2006年記)

## ② チンド犬「カンアジ(子犬)」は

「ノムノム イエッポヨ(とっても可愛いよ)」

チンド犬「パル」に出会った翌年、カンアジを見る機会を狙っていた。カンアジは、2と7の付くチンドの「五日市場(オールドシジャン)」で売られていることが分かり、会ってきた。(2007年)



## ③ セマングム(新萬金)干拓事業

朝鮮半島西海岸は干潟が続いている。むくげの会のフィールドワークでは、2015年群山方面に行つた。小型バスで金ヨンテさんの説明を聞きながら干拓されたところ、これからされるところを回つた。

展望のきく建物から西側を眺めているとき、真

下の古い家からチンド犬がこちらを見ていた。犬の周りは漁業関係の道具が置かれている。「まもなく、ここから引っ越すことになるんだよ~」と、訴えているような顔をしていた。  
(2015.4)



## ④ 同じく群山へ

次の年、別のグループと同じところ③へ行った。干拓事業は2006年に33,9キロメートルの防波堤が完成し、農地造成・企業団地・ゴルフ場・展望タワーと陸化がすすめられている。

③で出会ったイケメンチンド犬はどうしているか知りたかったが、別ルートで回っているので、会えなかった。④も立ち退き地域で、住民は別のところに引っ越していたが、犬が元の家周辺の番をしていた。娘さんが犬の世話を来ていた。離れた高台から娘さんに向かって「チンド犬?」と叫んでみた。娘さんは大声で「オンマ(お母さん)アキタ~」と返答してくれた。チンド犬と秋田犬との間に生まれた白犬だった。「コーマッスムニダ~(ありがとう~)」



(2012年)

## ⑤ 全州で出会った障がい犬

全州の中心地に「韓屋マウル」

がある。その中のかなり古い韓紙工房所を訪ねた時、入り口に元気な愛嬌ある犬がいた。甘噛みしながらくっついて離れようとしない。飛田さんに連続写真を写してもらった。

気が付かなかつたが、家で写真を見ると、前両足の膝から下が外側に曲がる障害を持っていた。

次の年、別の用事で全州へ行ったときに、どうしているかな?と、気になるので工房所に寄つてみた。名前も知りたかつたし。

ところが、大改修工事中で犬も引っ越していた。

## ⑥ 太田駅元鉄道官舎で



「ハルモニ~何しに来たの?」



⑦木浦神社跡の近くで  
お兄さん自慢のチンド犬